

もいかわ通信

平成26年度 第52号 1月 28日 発行
岩手河川国道事務所
盛岡出張所
〒020-0862
盛岡市東仙北一丁目11-11
TEL 019-636-0444
FAX 019-636-1047

「中津川勿忘草を育てる会」が環境保全活動表彰受賞！

★岩手県の平成26年度 環境保全活動4団体を表彰 in アイーナ

1月24日（土）盛岡駅西通りのアイーナで、岩手県の平成26年度環境保全活動表彰の贈呈式が行われました。

環境保全部門では、盛岡出張所の中津川での活動にもご協力いただいている「中津川勿忘草を育てる会」が受賞しました。

昭和61年からカキツバタの手入れや、特定外来植物の駆除、河川敷の清掃や草刈りを実施しています。二年前から盛岡出張所でも広く呼びかけている、オオハンゴンソウ・アレチウリの駆除や清掃活動では、積極的に地元の高校生や町内会に声をかけていただき、大勢の参加につながりました。

こうした地道な活動で、一時は特定外来植物の勢力に押されていた忘れな草でしたが、目をこらして探さなくてもその可憐な姿が見られる様になりつつあります。

受賞おめでとうございます！



平成25年6月23日
中津川でのイースポ



平成26年6月21日
中津川での
オオハンゴンソウ駆除作戦

川に残る古い歴史をたどってみよう

材木町裏石組（北上川左岸）

夕顔瀬橋から旭橋の材木町側の川べりには、高さ3.3m～5.5mの石を積んだ護岸があります。

近づいて見ると石が不規則に積まれているのが分かります。これは統一して作られたのではなく、各家々が堤防を手作りで施工したことを物語っています。

建築時期は明治期が主とされますが、花崗岩の乱積み部は江戸時代後期とされています。通ってみると「石積みの見本市」といった具合でさまざまな積み方をしており、眺めて楽しむことができます。



材木町裏石組



中津川治水碑（下の橋右岸）

下の橋の右岸たもとには、明治43年9月2日の水害後の大正元年に、治水工事が完了したことを記念し建立された治水碑があります。当時の下の橋は、上の橋・中の橋に比べ水害を受けやすく落橋が多かったそうです。

【明治43年の水害について】この年に大きな台風が相次いで襲来。中津川は最高水位が4mに達しました。

この洪水で多くの家屋の他、中津川にかかるたくさんの橋が流失しました。これを契機として北上川水系の河川改修が本格的に検討され、翌年、工事が開始されました。



明治43年の台風による洪水時

中津川 中の橋



近年の中津川中の橋付近の様子